

食品中の放射性物質検査結果（令和4年度）

平成23年3月に東日本大震災による福島第一原子力発電所事故がおき、市民の健康影響への不安に応え市内流通食品の安全・安心を確保するため、同年7月から食品中の放射性物質検査を行っています。

令和4年度に当所で行った食品の検査結果は表1～表3のとおりです。433検体中しいたけ(生)1検体から放射性セシウム(Cs)が検出されましたが、基準値*は超えませんでした。

* 放射性 Cs の基準値(Cs-134 と Cs-137 の合計)

飲料水:10Bq/kg、乳児用食品:50Bq/kg、牛乳:50Bq/kg、一般食品:100Bq/kg
(厚生労働省告示第129号、130号 平成24年3月15日)

表1 検体の種類及び数並びに放射性Cs検出検体数

検体の種類	説明	検査検体数	放射性Cs検出検体数
市内産農産物	横浜市内産の農産物	12	1
市内産水産物	横浜市内漁港水揚げの魚介類	60	0
市内産畜産物	横浜市内産の原乳	4	0
市内量販店流通食品	横浜市内で流通している食品	12	0
小学校給食	米、麦及び牛乳	345	0
合計		433	1

表2 検体の内訳

検体の種類	品名([]内は検体数)
市内産農産物	かき[1]、かぶ[1]、きゅうり[1]、こまつな[1]、米(玄米)[1]、しいたけ(生)[1]、たけのこ[1]、トマト[1]、なす[1]、日本なし[1]、にんじん[1]、ばれいしょ[1]
市内産水産物	イボダイ[1]、カサゴ[1]、カナガシラ[2]、カマス[5]、クロダイ[3]、コショウダイ[1]、コノシロ[3]、シログチ[14]、スズキ[4]、タチウオ[17]、ホウボウ[1]、マアジ[1]、マアナゴ[1]、マサバ[1]、ムシガレイ[2]、メイタガレイ[2]、メバル[1]
市内産畜産物	原乳[4]
市内量販店流通食品	牛肉[1]、牛乳[1]、小麦粉[2]、米(精米)[1]、清涼飲料水[3]、乳児用食品[2]、みそ(米)[1]、ミルク(液体)[1]
小学校給食	牛乳[174]、米(精米)[97]、米(胚芽米)[32]、麦[42]

表3 放射性Cs検出検体の検査結果

品名	検体数 (Cs検出数)	検出値(Bq/kg)		
		Cs-134	Cs-137	Cs合計
しいたけ(生)	1(1)	不検出(<0.877)	2.18	2.2

不検出の()内数値は、検出限界値

【 理化学検査研究課 環境化学担当 】